

かわら版

藤崎建設工業株式会社 新社屋完成 (最先端のZEBシステム導入) (4月5日より新社屋で業務がスタート)

ZEB(ゼロ・エネルギー・ビル)とは、CO2削減を念頭に、建物の運用段階でのエネルギー消費量を、省エネや再生可能エネルギーの利用を通じて、限りなくゼロにするという考え方。地球温暖化を始めとする環境問題やエネルギー需給問題への配慮は、未来の地球と社会の在り方を考えていく上で欠かせない問題です。特に日本のエネルギー消費量の30%以上を占める民生部門の省エネ対策は急務であり、経済産業省は2030年までに新築されるすべてのビルのZEB化を目標に掲げています。藤崎建設工業は「低炭素社会の実現へ少しでも役立ちたい」との思いからZEBに着手。全国で建設されているZEBの大半が大手建設会社の実証・実験棟を占める中、2017年3月、中堅企業の先駆けとなる自社新本社屋のZEBを実現しました。

